令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４００４

プロジェクト名 学食ランチでつながろう！-食で日大文理エリアの絆をつなぐ-

プロジェクトの概要

日本大学文理学部近隣の小学生に対し、給食のない土曜日や長期休暇に、栄養バランスの取れた学食を無料で提供し、大学生や地域ボランティアと共に楽しむランチイベントを開催しました。本プロジェクトの実施を通して、さまざまな家庭環境下におかれている子どもたちに食育を行うことに加えて、大学生や地域住民との交流を通して、体験格差の是正および将来の選択肢を増やす機会を提供することを目指しました。

プロジェクトの結果・成果

本イベントは、2024 年 8 月 7 日, 8 月 22 日, 10 月 19 日, 12 月 22 日の計 4 回開催した(2025 年 3 月 31 日にも開催予定)。各回とも、アイスブレイク、学食での昼食、大学生によるレクリエーションという共通のスケジュールで進行した。

1 回目のイベントでは 45 名の子どもたちが参加し、昼食後、情報学科の学生によるレクを実施した。2 回目は 38 名の子どもたちが参加し、生命科学科の学生による DNA 抽出実験を行った。3 回目は 21 名の子どもたちが参加し、ハロウィンをテーマにしたゲームを楽しんだ。4 回目は 36 名の子どもたちが参加し、クリスマスをテーマとしたゲームを実施した。クリスマスイベントでは、スターバックスからクリスマスギフト、サントリーから CC レモンの提供があった。また、岩瀬日本大学高等学校の高校生 3 名がボランティアとして参加した。

本プロジェクトは 3 年目を迎え、社会福祉協議会や福音寮、学習支援施設、児童館などとより密に連携し、日本大学を中心とする地域コミュニティのつながりをより一層強固にすることができた。また、岩瀬日大附属高校との協力により、高校・大学間の連携も新たに生まれ、本学を中心としたコミュニティの輪が広がった。さらに、イベント内では「地域コミュニティへの参加と well-being の関係性」についてのアンケート調査を実施した。調査結果（3 月 31 日のデータを含めた分析結果を後日公表予定）に加え、自由記述欄では、「ご飯を食べるのが目的だったけど、新しいことができて楽しかった」といった声が寄せられた。本イベントが食支援だけでなく、大学生が主体となり子どもたちに多様な学びの機会を提供し well-being の向上にも貢献している。

活動写真





